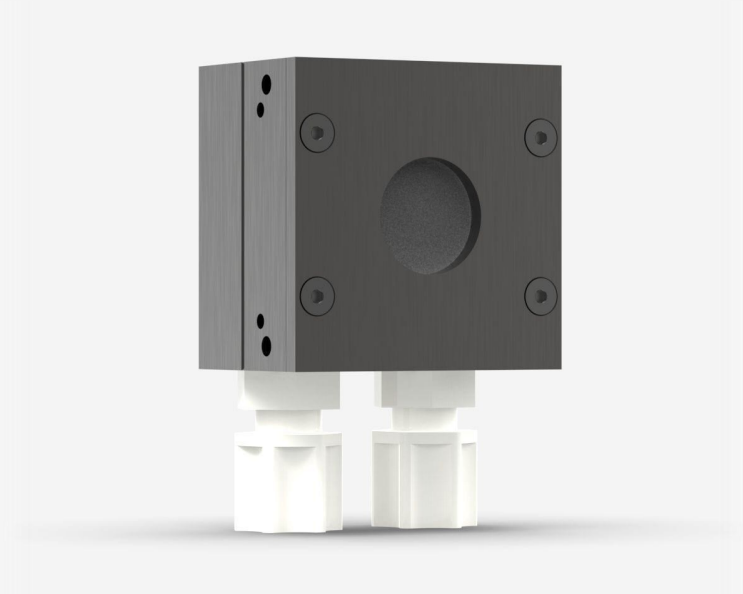
UP19K-50W-W5-D0

最大50 Wまでのレーザー出力測定用サーマルディテクタ。



プロダクトファミリーの主な特長

モジュール概念

お使いのディテクタのパワー能力を増加：5つの異なる冷却モジュール

超高損傷閾値

平均出力密度100 kW/cm^2

コンパクトデザイン

たった21 mmの厚さ（15S モデル）

エネルギーモード

最大200 Jのシングルショットエネルギーを測定

スマートインターフェース

すべての較正データを収容

互換性のあるスタンド

STAND-S-233

仕様

測定性能

最大平均出力（連続）[1]	50 W
最大平均出力（1分）[2]	85 W
ノイズ等価出力[3]	1 mW
スペクトル領域[4]	0.193 - 10 µm
標準上昇時間[5]	1.4 s
出力較正不確実性[6]	±2.5 %
繰り返し性	±0.5 %

1. 最低冷却流量0.5リットル/分、水温≤ 22°C、1/4インチ半硬質チューブ用1/8NPT圧縮金具。清浄脱イオン水冷却モジュールオプションについてはGentec-EOまでお問い合わせください。
2. 最低冷却流量0.5リットル/分、水温≤ 22°C、1/4インチ半硬質チューブ用1/8NPT圧縮金具。清浄脱イオン水冷却モジュールオプションについてはGentec-EOまでお問い合わせください。
3. 公称値。実際値は測定システムの電気的ノイズに応じて異なります。
4. 較正済みスペクトル域については、ユーザーマニュアルを参照してください。
5. 予測付。
6. 出力による線形性を含む。

測定性能（エネルギーモード）

最大測定可能エネルギー[1]	200 J
ノイズ等価エネルギー[2]	0.02 J
最小繰り返し期間	5 s
最大パルス幅	133 ms
エネルギー較正不確実性[3]	±5 %

1. 360 µsパルス用。長パルス (ms) により高いパルスエネルギー、短パルス (ns) により低いパルスエネルギーが可能。
2. 公称値。実際値は測定システムの電気的ノイズに応じて異なります。
3. 単発エネルギー較正をお求めの場合

損傷閾値

最大平均出力密度[1]	100 kW/cm²
最大エネルギー密度[2]	1.1 J/cm²

1. 1064 nmで、10 W CW。May vary with wavelength and average power.
2. 1064 nmで、7 ns、10 Hz。May vary with wavelength and pulse width.

物理的特徴

冷却	水
開口直径	19 mm
吸収材	W
寸法	76.5H x 50W x 35.5D mm
重量	0.24 kg

注文情報

UP19K-50W-W5-D0	200337
UP19K-50W-W5-BLU-D0	203661
UP19K-50W-W5-INT-D0	203049
UP19K-50W-W5-IDR-D0	203357

仕様は予告なく変更される場合があります。仕様の全容については、ユーザーマニュアルを参照してください。

本製品にご興味をお持ちですか？

見積をリクエスト

gentec-eo.com/ja/contact-usで最寄りのセールス担当者をお探しください